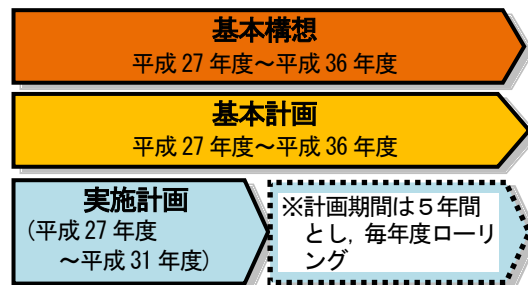


～総合計画の計画期間と構成～

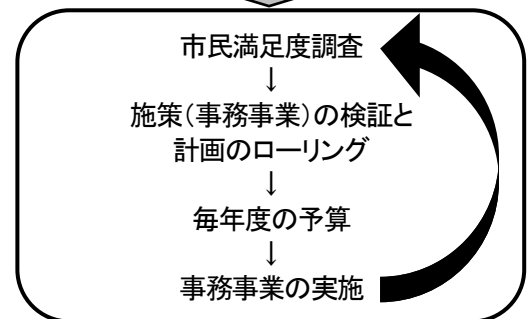
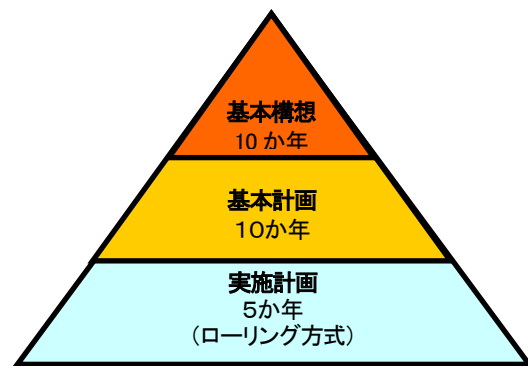
<現在の計画（江田島市総合計画）>  
平成17年度～平成26年度

<第2次江田島市総合計画の期間>  
平成27年度～平成36年度

※ただし、実施計画は5年間で、必要に応じて計画を見直す。



- 基本構想～基本的理念、都市像及び基本目標を設定
- 基本計画～基本構想を達成するための具体的な施策
- 実施計画～基本計画の実施に必要な事務事業を明らかにする中期計画



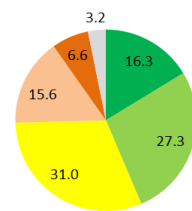
～合併後の10年を振り返って～

1 施策の全体的な評価と課題

- 目標人口(27,000人)を割り込むことが確実な状況
- 江田島らしさや特色づくりにつながる取組(オリーブ、サイクリング、子育てなど)
- コミュニティの維持・活性化、産業振興・雇用の確保、公共施設の再編・整備など課題は山積

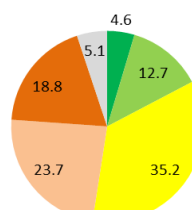
2 市民の意識・意見

○住みよさに対する一定の評価(住みやすい>住みにくい)



- 住みやすい
- どちらかという住みやすい
- どちらかという住みにくい
- 住みにくい
- 無回答

○10年前と比べた評価の低さ(良くなった<悪くなった)



- 良くなった
- どちらかという良くなった
- どちらかという悪くなった
- 悪くなった
- 無回答

- 江田島市の各種取組に対する厳しい評価
- 「交通」、「働く場」、「医療、救急医療」に関することが3大問題点
- まちづくりのキーワードは、「住みよさ」、「海・自然」、「支え合い」などが上位

10年後の目指す姿

協働と交流で創りだす『恵み多き島』えたじま

「住みよさ」を備え、「つながり」「地域資源」を生かしてずっと住み続けたい、住んでみたい、魅力あふれる島

数値目標  
平成36年度  
目標人口  
23,000人

まちづくりの基本戦略(2つの戦略)

市民が必要とし、求めているサービスを提供する

新たな人の流れや経済活動を創り出す

市民満足度の高いまちづくり

「市民重要度・満足度をもとに、部門・分野別に施策・事業を推進」

- 教育・文化 人が育ち、輝くまち
- 産業・観光 元気な産業・観光を生み出すまち
- 福祉・保健 健康で安心して暮らせるまち
- 生活・環境 生活と環境を守り、高めるまち
- 安全・安心 災害に強く安心して暮らせるまち
- 基盤 しっかりとした基盤を備えたまち
- 地域 地域が元気でにぎやかなまち

数値目標  
平成36年度  
市民満足度ポイント 70点以上

「横断的に施策・事業を実施」

「広島湾地域の発展に貢献する『海生交流都市』」

未来を切り開くまちづくり

- え “絵になる島” 瀬戸内海で最も美しい景観の島の実現
- た “楽しめる島” 海や島の自然を生かした観光・交流人口の拡大
- じ “自慢できる島” 地域ブランドと人材育成による新たな魅力づくり
- ま “また来たい島” リピーター獲得に向けた環境整備

数値目標  
平成36年度  
交流人口の倍増(総観光客数 100万人)